



集落営農法人・組織の優良事例

| | |
|-----------------|--|
| 組織名 | 農事組合法人 かみあさライスセンター |
| 所在地 | 愛媛県今治市宮ヶ崎甲218 |
| 経営品目・面積 | 水稻：34ha 裸麦：8.5ha 小麦：2.1ha 作業受託：28.5ha |
| 構成員戸数 | 83戸 |
| 所有する機械・施設等 | ライスセンター、コンバイン、田植機、籾摺機、麦播種機、ブロードキャスト、野菜移植機、軽トラック、フォークリフトなど |
| 組織代表者 氏名・連絡先 | 代表理事組合長 越智 修三 (TEL：0898-56-3398) |
| 設立の経緯 | ○昭和56年の朝倉ダム完成に伴う水田圃場整備を機に、昭和58年に共同利用施設のライスセンターを整備。同年、「上朝地区共同利用施設組合」を設立、平成18年に「(農)かみあさライスセンター」として法人化した。 |
| 取り組みの 特徴 | <p>経営の安定した継続と地域農業を次代につなぐために、次の事業に取り組んでいる。</p> <p>○ドローン防除（水稻出穂前）の導入による省力化の推進（JAに委託 18ha）</p> <p>○営農管理システム「KSAS（クボタ）」の導入による収穫作業の省力化と営農管理の効率化・見える化の実現（水稻、麦）</p> <p>○野菜栽培（ブロッコリー、甘長とうがらし：JA推進品目）との複合経営</p> <p>○ホームページを開設し、より多くの消費者に法人活動及び農産物についてPR (https://rice-kamiasa.jimdosite.com/)</p> <p>○アンケート調査等による経営方針や課題解決方策への構成員の声の反映（全員参加の方針）</p> <p>○令和2年に新規就農者の受入れを行い、令和4年から事務職員兼オペレーターとして雇用（1名）</p> <p>【参考】</p> <p>全国担い手育成総合支援協議会会長賞（H18）</p> <p>愛媛県農産園芸功労知事表彰（H19）</p> <p>豊かなふるさとづくり表彰事業 中国四国農政局長賞（H21）</p> |
| 取り組みの PR 画像等 | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ドローン防除</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>営農管理システム勉強会</p> </div> </div> |